



2021年9月8日

各位

会社名 ミライアル株式会社
代表者名 代表取締役社長 兵部 匡俊
(コード 4238: 東証第一部)
問合せ先 企画部長 板羽 恒
電話番号 03(3986)3782

2022年1月期第3四半期連結業績予想に関するお知らせ

未公表でありました2022年1月期第3四半期の連結業績予想を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年1月期第3四半期(累計)の連結業績予想(2021年2月1日~2021年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	8,175	1,090	1,140	820	91.10
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(参考)2021年1月期 第3四半期実績	7,346	597	661	801	89.11

2. 2022年1月期第3四半期(累計)の連結業績予想の開示理由

第3四半期累計期間の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染再拡大の影響により先行きが不透明な状況となっており、2021年6月8日の決算発表時において合理的な業績予想の算定が困難であったことから未公表としておりましたが、現時点での入手可能な情報に基づいて予想値の算出が可能となったため、第3四半期累計期間の連結業績予想を公表いたします。

第3四半期累計期間の連結売上高につきましては、成形機事業に関連する自動車業界、電気業界等の設備投資に回復基調が見られますが、新型コロナウイルスの影響による営業活動・検収作業の制限等があり、軟調に推移することが見込まれる一方で、プラスチック成形事業につきましては、通信機器等の需要拡大が継続し、堅調に推移すると見込まれます。その結果、連結売上高は8,175百万円となる見込みであります。

営業利益及び経常利益につきましては、プラスチック原料・その他購入部材や運送費等の価格上昇の影響がありますが、工場稼働率の向上や高機能樹脂製品の拡販等により、前年同期を上回ることが見込まれます。なお、親会社に帰属する四半期純利益につきましては、賃貸等不動産に関連する固定資産(建物・土地)の譲渡による特別利益が計上された前年同期と比べ、若干上回る見込みとなります。

※上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上